



# 2年学年だより

発行日：令和4年11月30日（水）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 7

## 生徒会役員選挙が行われました！

11月15日（火）に新生徒会本部役員を選出する立会演説会が行われました。3年ぶりの立会演説会。候補者たちにとって、それぞれの想いを言葉にのせて直接全校生徒に届けられる貴重な場でした。その言葉を聞く生徒たちの眼差しも真剣そのもの。同日に投票した結果、次期生徒本部役員が以下の通り決定しました。

### 【9期】

生徒会長	3年2組	■	さん
役員	3年1組	■	さん
	3年3組	■	さん
	3年4組	■	さん
	2年1組	■	さん
	2年2組	■	さん

### 【10期】

生徒会長	2年1組	■	さん
役員	2年1組	■	さん
	2年2組	■	さん
	2年2組	■	さん
	1年1組	■	さん
	1年1組	■	さん



↑現（9期）

生徒会本部役員の方皆さん

新（10期）↓

今年度、生徒会本部は「和して同ぜず 自分に自信を」という生徒会目標を掲げて活動しています。2年ぶりの開催となった南高祭展示の部では、高校生と協力してスタンプラリー活動を行いました。また、3年ぶりに全校生徒一同に介して行う行事「全校交流イベント」を企画中です。自分たちが経験したことのない活動を企画・運営することに大変な苦勞を感じていますが、成功に向けて懸命に準備しています。

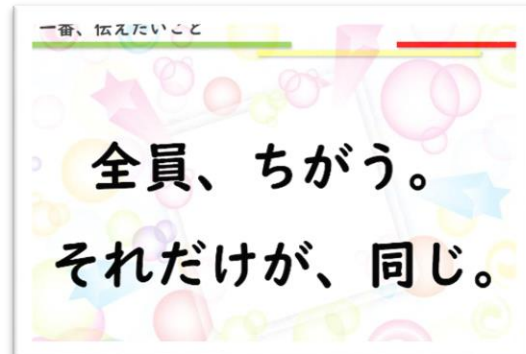
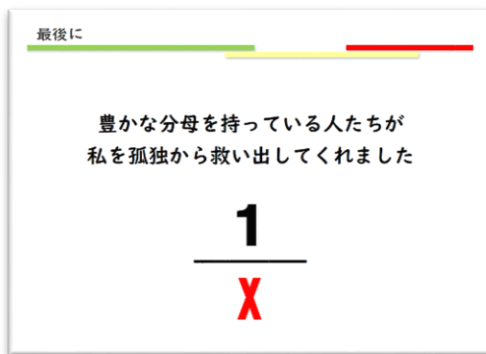
12月から3月までの4カ月、現役員と新役員の10人がともに活動することで、生徒会活動の引継ぎとパワーアップを目指していきます。

本部役員は附属中生の代表として活動していきますが、附属中学校を作っていくのは全校生徒のみなさんです。これまでの歴史の中で、その時その時の、附属中生の先輩たちが皆さんの生活する学校の土台を築き上げてくれました。これからはさらによりよい学校を目指し、全校生徒で明日の附属中学校をつくっていきましょう。一人ひとりの姿勢から学校は変化していきます。さまざまな生徒会活動（委員会活動やクラスの係活動、学校行事など）はみなさんの成長のチャンスです。創意工夫のある生徒会活動を通して、附属中生が心身ともにたくましく成長していくことを願っています。



# EGG 講座☆「人として生きる」

11月19日の土曜EGGでは、「人として生きる」というテーマでEGG講座を開催しました。講師の鈴木信平さんは普段会社員として働きながら、『男であれず、女になれない』（小学館）という本を著しています。10期生に向けて「からだの性、こころの性、好きになる性、見られたい性」「私のままの私を大切にすること」「人生における勉強することの意義」などをお話ししてくださいました。皆さん自分たちの課題ととらえ、真剣な眼差しで聞き入っていました。講演後の質問タイムでは、山形先生が打ち切るのに困るほど、多くの人の手が上がりました。14歳のピュアな心で聴いて感じたことの一部を紹介します。



(講座のスライドの一部です)

【感想のほんの一部です…】

- 自分は主に2つのことについて心に残っている。1つ目は、 $1/x$ の分子を磨くために分母を集めているということだ。例えば、自分が目標としているテニスの技術「1」を磨くために、たくさんの「x」を集めていると考えるとすぐに納得できた。2つ目は、「みんな違う。それだけが同じ」ということだ。「違う」と「同じ」という、2つの矛盾した言葉を使っているのに、確かにみんな違うことだけが同じであり、すごく納得した。自分が特に驚いたことは、全人口の約8.9%もいるということだ。自分の身近な中にもいるのが当たり前なので、考えて行動していきたい。(1組 ■■■■)
  - 分子の精度を上げるために学んでいることが特に印象に残った。何かを学ぶことで分母の数が増え、分子の精度が上がる。また、分母の数が増えると様々な視点から物事を考えることができる。このような考え方をしたことがなかったので、学ぶ理由に納得できた。そして、分母の数が多く、視野が広い人が支えたり、守れたりする存在なのだと分かった。話を聞き終えて、頭では理解できていても、実際にそのような人を見たとき、会ったとき、どのように接するべきか分からなかったり、戸惑ったりしてしまうことも多いだろうと感じた。質問するとき、どうして違和感を持ってしまうのか考えてみてくださいと言っていました。今までそのような人と接する機会がなかったからというのが大きいのかなと思った。今までの当たり前が当たり前ではなくなってしまい、戸惑ったり違和感を感じてしまったりするのだと思う。すぐに当たり前にはならないが、少しずつ視野を広げていきたい。
- 今と違う性別になることができ、戻れなくなってしまったら、どう思うかを想像したときは、自分が周りと同じになれない苦しさを感じた。LGBTQの人たちは何年もそういう思いをしていると考えると、とてもつらいだろうと思う。だからこそ、社会全体が差別的な目を向けることがないようにしてほしい。(2組 ■■■■)

- 今回の講演を聞いて、LGBTQ についての印象が変わりました。鈴木さんのお話を聞くと、自分たちが何気なく言っていた「彼女いる？」や「おじさん」などの言葉が、知らない間に相手を傷つけてしまっていたかもしれない。そう思うとこれからは、どんな人に対してもマナーとして、性別に関係する言葉の使い方を注意していこうと思った。また、性に関することだけではなく、自分の「らしさ」というお話は、思っていた以上に自分たちにも深くかかわっていて驚いた。正直、自分は LGBTQ の事はあまりピンとこなかったけれど、そのときに紹介してくださったランドセルの例で、確かに私も青がよかったのに赤になったことを思い出しました。そういう思い込みがあふれていると思った。そして、鈴木さんが「私は男でもないし、女にもなれない、ただのサラリーマンです。」といったとき、そうやって自分を堂々と「○○だ」と言えるのはカッコいいと思った。どうしても、見た目で判断してしまうことが多いけど、それだけではなく、その「人」をみるということを大切にしていきたい。(3組 ■■■■■)
- LGBTQ は自分たちにとって身近な存在であり、この講座を通し「実際に意識すべきこと」「一体 LGBTQ とは何か」など、真剣に向き合う必要性を知れた。正直、今までは壁を作ってはいけなくて理想を持ちつつも、どこか他人事のように感じていた。だが、この広い社会で自分の分母の数を大きくする・知識を増やすことによって、分子の1がより精鋭なものとなり価値が高まり、豊かな考えを持つ人につながるという新たな発想を伝えられた。それが LGBTQ の人を助けることができる存在、誰かの支えになれるために大切なことだと聞き、心に刺さった。相手を勝手に決めつけ、憶測で判断するのが人を傷つけるきっかけとなる、これは日常でよくある経験だった。私たちが知識の幅を広げ、自分や人と向き合っていかななくては解決できない。想像を働かせ「考え続ける」ことで人との関係を築いていきたいと思う。(4組 ■■■■■)

## ☆10期生 生徒会役員の抱負☆彡

11月15日(火)に令和5年度生徒会役員選挙が行われました。いよいよ10期生が附属中学校をかじ取りする準備期間に入っていきます。生徒会本部役員だけでなく、各種委員会の委員長、各部活の部長など、10期生が様々な場面で、お互いに活躍し、支え合いながら、後輩たちを導いていく姿を期待しています。

生徒会長: ■■■■■

私は今回「全員で創る楽しい学校生活へ」をキャッチコピーに立候補しました。

普段生活している中で、多くの方が様々な形の悩みを抱えていると思います。しかし、現状のままでは「もっとこうだったらいいのに」と思ったときでも、その意見を伝えて実際に反映させることができる場はないことが多いと思います。そこで、全校からそういった思いを吸い上げ、生徒会員全員でより楽しい学校を創っていけるような体制を整えようと思っています。最後になりますが、今回立候補するにあたって、応援してくださった先生方、クラスメイト、部活動のメンバー、その他すべての皆様へ感謝を申し上げたいと思います。皆さんの期待に応えられるよう、全身全霊で頑張ります。よろしくお願いします。

2年役員: [REDACTED]

私が生徒会役員選挙に立候補しようと思ったのは、演説会の1ヶ月くらい前でした。最初は軽い気持ちで考えていたので、あまり実感や具体性は無かったものの、時間が経つにつれ、自分はとても重要な決断をしたのではないかと不安になっていました。しかし、先生や親と相談すると、心がスーッと軽くなり、冷静に考えることができました。この体験から私は自分の気持ちを言葉にして伝える「言葉の力を大切に」というスローガンを思いつきました。選挙期間は支えてくれる人のありがたさを感じました。選挙広報や演説の台本は先生が添削してくれましたし、応援演説をしてくれた大塚さんにはポスターも作ってもらいました。彼がいなければ立候補していなかったかもしれません。また、他の友達も私のことを応援してくれて、当選したときには「おめでとう」と言ってもらえました。本当にありがとうございました。皆さんの期待に応えられるよう、全力で頑張っていきます。また、公約である意見交換会も企画したいと思いますので、[REDACTED]のこれからにご期待ください。

2年役員: [REDACTED]

皆さんの一票一票により、役員として活動させていただくことになりました。私は他学年との壁を無くしていきたいと考えています。全校生徒が学年・クラスを越えて交流できる場を増やすため、企画を運営していきたいと思います。私には大好きな先輩・後輩がいます。クラスメイトとは違う角度から私を支えてくれていると感じます。そういう他学年との関係を築くお手伝いができたらいいなと思います。役員2年目、精一杯頑張ります。どうかご協力をよろしくお願いします。

2年役員: [REDACTED]

清き一票ありがとうございました。よろしくお願いします。私は公約の通り、皆さんの要望の実現のために、努力をします。うまくやるためには皆さんの協力が不可欠です。理想の学校にするために是非！！どしどし、要望を言ってください！！よりよくするため、どうすればいいかアイデア、ご意見をたくさんお寄せください。くじけず要望実現のために生徒会や先生方、関連する委員会と話し合います。より一層皆さんと生徒会の関係が深くなるよう工夫していきます。労力を惜しまず、1年間とことん頑張ります。しくじることもあると思いますが、温かく見守っていただけると嬉しいです。悔いの残らない学校生活にするためにみんなで南高附属中を変えましょう！

## 姫のひとりごと

EGG講座の感想を読んで、皆さんがいろいろな考えを素直に受け止め、どう行動すればよいかを考えていることが伝わってきました。人に流されるのではなく、自分が納得して「行動する」。これからもさまざまな機会をチャンスとしてとらえ、行動していきましょう。

また、生徒会役員選挙も無事終わりました。生徒会活動も、役員さんを中心に、全生徒が心をつなげて「行動」していきましょう。